

NYマーケットレポート(2013年9月18日)

昨晚の NY 外国為替市場は、序盤に発表された米住宅着工件数が市場予想を下回ったことを受けて、ドルが売られたものの、2ヵ月連続の伸びとなり、5月以来3ヵ月ぶりの高水準となったことから下げ幅は限定的となりました。その後は、FOMCの結果発表を控えて様子見気分も強まり、ドル円・クロス円は小動きの展開が続きました。そして、FOMCでは、期待されていた資産購入額の縮小が見送られたことから、ドルが主要通貨に対して下落する動きとなりました。ドル/円は8月30日以来の安値水準となり、ユーロ/ドルは2月7日以来の高値を付ける動きとなりました。また、緩和策縮小期待から、新興国通貨が対ドルで下落していましたが、FOMCを受けて買い戻しが優勢となっています。

2013/9/18 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	99.10	99.34	99.07
EUR/JPY	132.29	132.59	132.25
GBP/JPY	157.78	157.97	157.62
AUD/JPY	92.76	92.93	92.59
EUR/USD	1.3351	1.3365	1.3347

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	99.12	98.79
EUR/JPY	132.35	131.86
GBP/JPY	158.18	157.50
AUD/JPY	92.79	92.48
EUR/USD	1.3360	1.3344

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14505.36	+193.69
ハンセン指数	23117.45	-63.07
上海総合	2191.85	+6.29
韓国総合指数	2005.58	-7.79
豪ASX200	5238.14	-13.10
インドSENSEX指数	19962.16	+158.13
シンガポールST指数	3193.85	+12.93

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6558.82	-11.35
仏CAC40	4170.40	+24.89
独DAX	8636.06	+39.11
ST欧州600	313.28	+1.33
西IBEX35指数	9062.50	+70.50
伊FTSE MIB指数	17804.70	+53.05
南ア 全株指数	43371.44	-391.43

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	97.88	99.11	97.88
EUR/JPY	132.41	132.68	131.95
GBP/JPY	158.06	158.26	157.37
AUD/JPY	93.21	93.37	92.42
NZD/JPY	82.01	82.17	81.18
EUR/USD	1.3528	1.3529	1.3338
AUD/USD	0.9523	0.9525	0.9341

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	15676.94	+147.21
S&P500	1725.52	+20.76
NASDAQ	3783.64	+37.94
その他主要株	終値	前日比
カナダ トロント総合	12931.40	+97.29
ブラジル ボルサ指数	41902.40	+764.53
ロシア ボヘスバ指数	55702.90	+1431.65

9/19 経済指標スケジュール

08:50	【日】8月貿易収支
13:30	【日】7月全産業活動指数
14:00	【日】7月景気一致CI指数
14:00	【日】7月景気先行CI指数
15:00	【スイス】8月貿易収支
16:30	【スイス】政策金利発表
17:00	【ノルウェー】政策金利発表
17:30	【英】8月小売売上高指数
19:00	【英】9月CBI企業動向調査
21:30	【米】新規失業保険申請件数
21:30	【米】失業保険継続受給者数
21:30	【米】2Q経常収支
21:30	【カナダ】7月卸売売上高
22:20	【南ア】政策金利発表(時間未定)
23:00	【米】8月中古住宅販売件数
23:00	【米】8月景気先行指標総合指数
23:00	【米】9月フィラデルフィア連銀景況指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1307.60	-1.80
NY 原油	108.07	+2.65
CME コーン	456.25	+2.25
CBOT 大豆	1347.75	+5.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.33%	0.37%
3年債	0.67%	0.78%
5年債	1.43%	1.61%
7年債	2.06%	2.24%
10年債	2.70%	2.84%
30年債	3.75%	3.83%

9/19 主要会議・講演・その他予定

- ・中国中秋節～21日
- ・米10年TIPS債入札

(出所:ブルームバーグ)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 99.01 ユーロ/円 132.20 ユーロ/ドル 1.3353

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6577.20	+7.03	ダウ INDEX FUTURE	15471	+6
仏 CAC40	4167.88	+22.37	S&P500 FUTURE	1699.50	+1.20
独 DAX	8635.04	+38.09	NASDAQ FUTURE	3191.75	+7.75

(出所:ブルームバーグ)

21:00

《 経済指標の結果 》

- ・ 8 月ポーランド鉱工業生産販売(前月比) -4.5% (予想 -3.8%・前回 1.5%)
- ・ 8 月ポーランド鉱工業生産販売(前年比) 2.2% (予想 2.7%・前回 6.3%)
- ・ 8 月ポーランド生産者物価指数(前月比) -0.3% (予想 0.1%・前回 0.2%)
- ・ 8 月ポーランド生産者物価指数(前年比) -1.1% (予想 -0.7%・前回 -0.8%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

- ・ 8 月米住宅着工件数 89.1 万件 (予想 92.0 万件・前回 88.3 万件) 前回発表の 89.6 万件から 88.3 万件に修正
- ・ 8 月米住宅着工件数 (前月比) 0.9% (予想 2.7%・前回 5.7%) 前回発表の 5.9% から 5.7%に修正
- ・ 8 月米建設許可件数 91.8 万件 (予想 95.0 万件・前回 95.4 万件) 前回発表の 94.3 万件から 95.4 万件に修正
- ・ 8 月米建設許可件数 (前月比) -3.8% (予想 -0.4%・前回 3.9%) 建設許可件数は 2.7%から 3.9%に修正



(出所:ブルームバーグ)



経済指標データ

《米住宅着工・許可件数》

8月・7月・6月・5月・4月・3月・2月

住宅着工件数・89.1・88.3・83.5・91.9・85.2・100.5・96.9

一戸建て住宅・62.8・58.7・60.5・59.7・59.3・62.3・65.2

集合住宅・26.3・29.6・23.0・32.2・25.9・38.2・31.7

許可件数・91.8・95.4・91.8・98.5・100.5・89.0・95.2

一戸建て住宅・62.7・60.9・62.5・62.0・61.4・59.9・60.0

集合住宅・29.1・34.5・29.3・36.5・39.1・29.1・35.2

前月比(%)

住宅着工・0.9・5.7・-9.1・7.9・-15.2・3.7・7.9

住宅建設許可・-3.8・3.9・-6.8・-2.0・12.9・-6.5・4.0

22:33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	15509.99	-19.74
ナスダック	3750.18	+4.48

(出所:ブルームバーグ)

23 : 00

《 経済指標の結果 》

・ メキシコ外貨準備高(週次) 1705 億 5300 万 USD (前回 1706 億 3200 万 USD)



(出所:ブルームバーグ)

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米量的金融緩和策の先行きを議論している FOMC の結果発表を控え様子見姿勢が強く、主要株価は小動きの展開が続いている。

23 : 35

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・437 万バレル減少
ガソリン在庫・・・163 万バレル減少
留出油在庫・・・108 万バレル減少

《FOMC のポイント》

FOMC は声明のほかに経済予測も発表する予定。また、2016 年の FF 金利誘導目標の予想も初めて盛り込まれる。FRB のバーナンキ議長は午後 2 時半（日本時間 19 日午前 3 時 30 分）に記者会見を行う。

月額 850 億ドルで実施している債券購入のペースに関して、一部では、「8 月の米雇用統計で雇用者の伸びが市場予想に届かなかったものの、縮小が決定されるだろう」「ただ、購入額の縮小があっても規模は小さなものになる可能性が高い」、などの予想も出ている。

FOMC は、失業率が 6.5%を上回り、インフレ率予測値が 2.5%を超えない限り、FF 金利を引き上げない方針を示している。ただ、バーナンキ議長は、失業率が 6.5%に低下しても引き締めは動くきっかけにはならないなど、さらなる緩和縮小は経済情勢次第だと明確に表明する可能性が考えられる。

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA（全米抵当貸付銀行協会）の住宅ローン申請指数は、前週比+11.2%となり、2月末以来の大幅な伸びとなった。金利が低下したことが要因と考えられる。構成指数の借り換え指数は+17.9%となり、購入指数は+2.5%となった。申請指数は季節調整済みの数値だが、前週比で大きく上下したことは、9月初めのレーバーデーが影響した可能性を示唆している。30年固定金利型の住宅ローン金利は4.75%（前週4.80%）、15年固定金利型は3.81%（前週3.83%）。申請件数全体に占める借り換えの割合は60.9%（前週57%）と、2010年4月以来の低水準となった。

(2) 8月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比+0.9%の89.1万件と2ヵ月連続の伸びとなり、5月以来3ヵ月ぶりの高水準となった。建設許可件数前月比-3.8%の91.8万件となり、前月からマイナスに転じた。そして、いずれも市場予想を下回る結果となった。

①主力の一戸建て住宅は堅調だったが、それ以外の集合住宅などが大きく落ち込み、着件数の全体が小幅な増加にとどまった。

②着工件数では、一戸建てが前月比+7.0%の62.8万件、それ以外の集合住宅は11.1%の26.3万件となった。

③地域別では、最大市場の南部が+12.0%となったものの、北東部が-8.2%、中西部が-3.3%、西部が-10.9%となった。

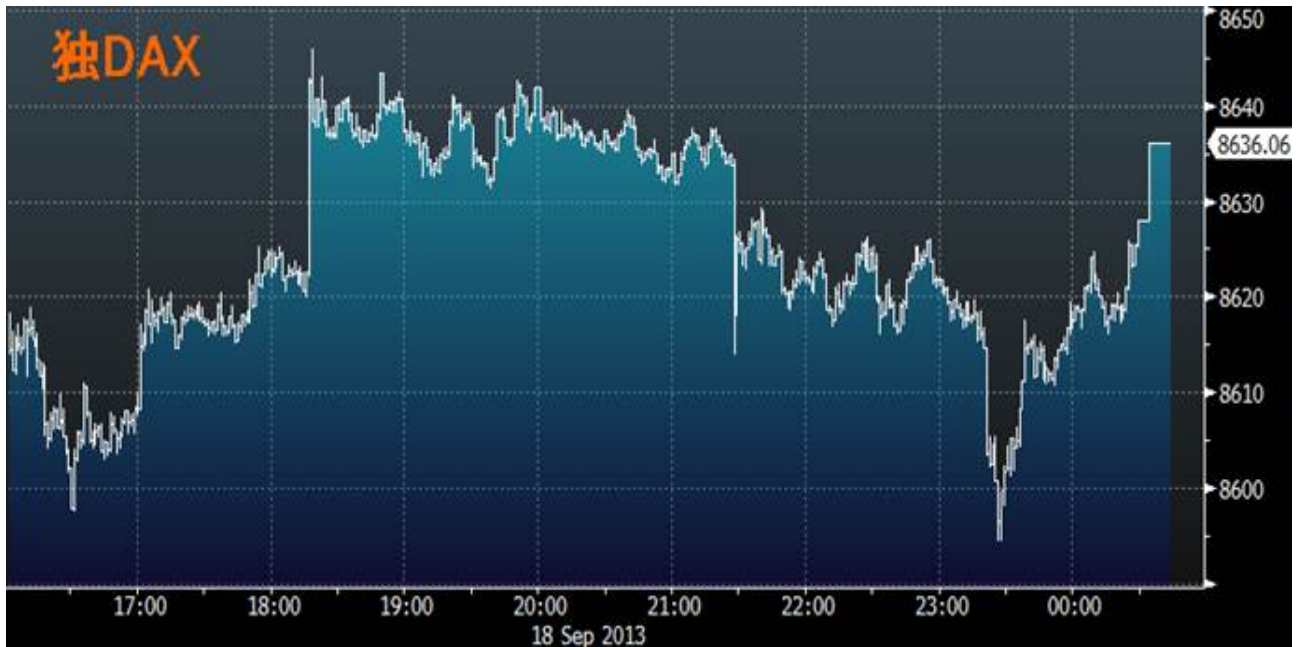
④米住宅市場はFRBの超低金利政策に支えられて緩やかに回復しているが、最近の金利上昇や景気の先行き不安からやや勢いが抑えられつつある。

欧州主要株	終値	前日比
英 FT100	6558.82	-11.35
仏 CAC40	4170.40	+24.89
独 DAX	8636.06	+39.11
ストック欧州 600 指数	313.28	+1.33
ユーロファースト 300 指数	1258.43	+5.80
スペイン IEX35 指数	9062.50	+70.50
イタリア FTSE MIB 指数	17804.70	+53.05
南ア アフリカ全株指数	43371.44	-391.43

(出所:ブルームバーグ)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。米 FOMC の結果発表を控えて様子見ムードが広がる中、米量的緩和の縮小規模が小幅にとどまるとの見方から主要株価は堅調な動きとなった。ただ、英 FT100 は小幅安で引けた。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 15483.73 (-46.00)、 S&P500 1701.72 (-3.04)、 ナスダック 3738.00 (-7.70)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

午前の債券市場は、米 FOMC の結果発表を控えて、ポジション調整の売りが先行した。米住宅着工件数が市場予想を下回ったものの、影響は限定的だった。

午前の利回りは、30 年債が 3.87% (前日 3.83%)、10 年債が 2.89% (2.85%) 7 年債が 2.29% (2.25%)、5 年債が 1.65% (1.61%)、3 年債が 0.81% (0.78%)、2 年債が 0.39% (0.37%)。

《欧州のポイント》

①スペイン中銀のデータによると、7 月の不良債権比率は 11.97%と、6 月の 11.63%から上昇となり、過去最悪を更新した。景気低迷の中で延滞が増えたほか、借り換え融資の分類についての規則変更が影響した。前年同月比では 10.09%となった。金額ベースでは 1787 億ユーロ (約 23 兆 6160 億円) と、前月から 20 億 2000 万ユーロ増加した。

②EU 欧州委員会は、短期金利の国際的指標である LIBOR が不正操作された問題を受け、欧州の金融指標規制案を発表した。規制対象は、LIBOR や EURIBOR (欧州銀行間取引金利) などの金融指標に加え、石油や金といった商品市場の指標も含む。指標提供機関を各国当局の監督下に置き、主要指標の監督には ESMA (欧州証券市場監督局) なども関与する。不正を行った法人に対しては、最大 100 万ユーロ (約 1 億 3000 万円) か、年間売上高の 10%相当の制裁金を科すとした。

《ここまでの動き》



- ①米住宅着工件数が市場予想を下回る結果となり、ドルが下落したものの、2 ヶ月連続の伸びとなり、5 月以来 3 ヶ月ぶりの高水準となったことなどから、下値は限定的となった。
- ②FOMC の結果発表を控えて様子見気分も強く小動きの展開が続いた。
- ③一部で、緩和策が 150 億ドル縮小されるとの見方が出て、株価が下落するなどやや思惑が交錯したことから、ドル/円は上昇する場面もあった。
- ④米民主党上院議員が、オバマ大統領は次期 FRB 議長にイエレンを指名するべきであると発言したこととの報道からドル売りが優勢となる。

《 欧州債券市場 》

欧州債市場は、米金融当局が大幅な量的緩和縮小は見送るとの観測から、域内で比較的安全とされるこれら国債の需要が後退し、ドイツなど中核国の国債が下落した。

ドイツ 10 年債利回りは、前日比 4bp 上昇の 2.01%、一時 2.02%と、13 日以来の高水準となった。ドイツ 10 年債とスペイン 10 年債のスプレッドは 4bp 縮小の 240bp となり、一時は 2011 年 7 月 5 日以来で最小となる 239bp まで縮まった。また、イタリア 10 年債とのスプレッドも 4bp 縮小の 240bp となり、一時は 8 月 23 日以来で最小の 237bp となった。

《海外の話題》

オーストラリア総選挙で勝利した保守連合を率いるトニー・アボット氏は、首都キャンベラで英女王代理のブライス総督へ宣誓し、新首相に就任した。新閣僚らも宣誓し、6年ぶりの保守政権となるアボット内閣が正式に発足した。

アボット氏は公約で、二酸化炭素排出企業に負担を課す炭素税の廃止や、アジアや中東などからの避難民がインドネシアから密航船で豪州を目指している問題の解決などを優先課題として掲げている。

貿易相には、自分が党首を務める自由党のロブ議員起用。従来の保守政権では、共に保守連合を構成する国民党から選出してきたポスト。日本や中国などと進める自由貿易協定の交渉により積極的に取り組む姿勢をみせ、労働党政権とは異なる「独自色」を出す意図があるとみられる。

3 : 00

《 経済指標の結果 》

・ FOMC 政策金利発表 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)



(出所:ブルームバーグ)

3 : 00

《 F O M C 》

- ・「資産購入、月額 850 億ドルで維持」
- ・「緩和縮小の前に成長の『さらなる証拠』確認したい」
- ・「最初の金利引き上げは 2015 年と大半が予想」
- ・「金融状況の引き締め、成長を遅くする恐れ」
- ・「住宅ローン金利の上昇、財政政策が成長を抑制」

3 : 05

《 F O M C 経済予測 》

- ・「2014 年末の失業率 6.4－6.8%」
- ・「2013 年末の失業率 7.1－7.3%」
- ・「2013 年 GDP は 2.0－2.3%に下方修正」
- ・「2014 年 GDP は 2.9－3.1%増に下方修正」
- ・「2013 年の PCE インフレ 1.1－1.2%」
- ・「2014 年の PCE インフレ 1.3－1.8%」



(出所: ネットダニア)

3 : 35

《 要人発言 》

バーナンキ FRB 議長～会見

- ・「経済成長は緩やか」
- ・「失業率は容認できない水準」
- ・「連邦財政政策は成長を抑制」
- ・「インフレ上昇を大半が予想」

- ・「FOMC はかなり緩和的な政策を継続」
- ・「量的緩和は労働市場の見通し次第」
- ・「経済データは縮小を正当化しない」
- ・「失業率が 6.5% 下回るまで利上げはない可能性も」

- ・「FOMC は最大限の明瞭さで意思伝達する必要」
- ・「失業率は労働市場の本当の姿を反映しない」
- ・「緩和縮小の第一歩は年内に可能」

4 : 00

NY 金は、中心限月が前日比 1.80 ドル安の 1 オンス＝1307.60 ドルで取引を終了した。

4 : 40

NY 原油は、中心限月が前日比 2.65 ドル高の 1 バレル＝108.07 ドルで取引を終了した。

要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1307.60	-1.80
NY 原油	108.07	+2.65

(出所:ブルームバーグ)

《 NY 金市場 》

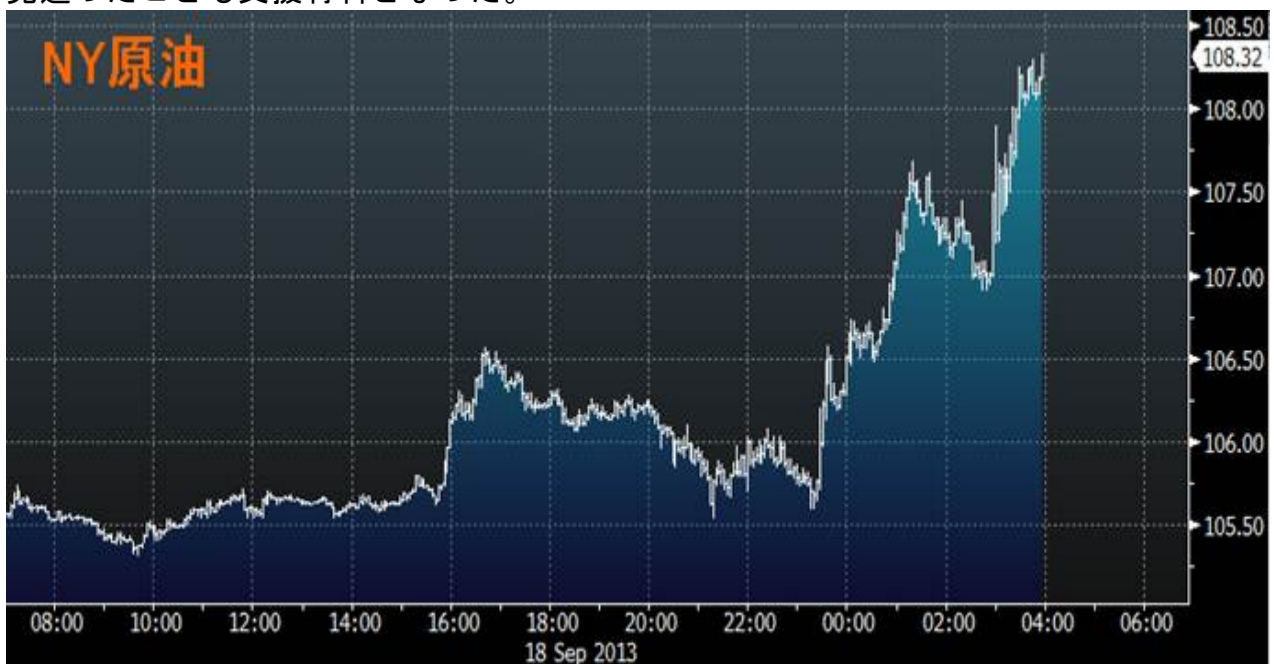
NY金は、FOMCの結果を見極めたいとの思惑から様子見気分が強く、小動きの展開が続いた。FOMCが量的緩和に伴う資産購入規模を維持したことを受けて、時間外取引で急速に値を戻した。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、米石油在庫統計で原油在庫が市場の予想以上に減ったことから、エネルギー需要の増加期待が広がって買いが先行した。また、米FOMCが量的緩和の規模縮小を見送ったことも支援材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

米主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	15676.94	+147.21	15709.58	15470.16
S&P500 種	1725.52	+20.76	1729.44	1700.35
ナスダック	3783.64	+37.94	3790.70	3737.69

(出所:ブルームバーグ)

《米株式市場》

米株式市場は、米 FOMC の結果発表を控え様子見姿勢が強く、主要株価は序盤から小動きの展開が続いた。そして、FOMC で緩和策の縮小が見送られたことを受けて買いが優勢となり、主要株価は大きく上昇となった。ダウ平均株価は、序盤はマイナス圏で小動きの展開が続いたものの、FOMC の結果を受けて大きく上昇し、一時前日比で 179ドル高まで上昇となり、最高値を更新する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	97.88	99.11	97.88
EUR/JPY	132.41	132.68	131.95
GBP/JPY	158.06	158.26	157.37
AUD/JPY	93.21	93.37	92.42
NZD/JPY	82.01	82.17	81.18
EUR/USD	1.3528	1.3529	1.3338
AUD/USD	0.9523	0.9525	0.9341

(出所:ブルームバーグ)

《外国為替市場》

外国為替市場は、FOMC の結果発表を控えて様子見気分が強く、ドル円・クロス円は序盤から小動きの展開が続いた。米住宅関連の経済指標が予想を下回ったものの、値動きは限定的となった。そして、FOMC で緩和策縮小が見送られたことを受けて、ドルが主要通貨に対して下落となり、ドル/円は 8 月 30 日以来の安値を付け、ユーロ/ドルは 2 月 13 日以来の高値水準まで上昇する動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。